

完全週休2日制導入に向けた モデル工事の実施について

千葉県 県土整備部 技術管理課

ほかり よしゆき
帆刈 善行

1. はじめに

建設業界では、若手の入職者が減少し、将来の担い手不足が大きな課題となっている。また、平成26年6月に改正施行された、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」いわゆる改正品確法では、発注者の責務として、担い手の中長期的な育成及び確保に配慮することが明記され、国や各自治体では建設産業の魅力を向上させるための様々な取組を始めている。完全週休2日制導入に向けたモデル工事は、その取組の一つとして実施されている。

2. 千葉県の取組

千葉県では、将来を担う若手が建設業界へ入職しやすい環境を整える取組として、平成27年度に初めて県発注工事現場における完全週休2日制（土日休み）導入に向けたモデル工事を実施した。

モデル工事は、完全週休2日制の実現に向け、受発注者が一体となって課題や効果を確認することを目的としている。

今回の千葉県の取組は、いわゆる4週8休ではなく、完全に土日を休むことを目指している。こ

れは、若手入職者を増加させるためには、定期的な連続休暇が取れる職場環境が必要だと考えたためである。

千葉県の完全週休2日制導入へ向けたモデル工事の取組は次のとおり。

(1) 発注準備

① 適正な工期の設定

この取組では、適正な工期を設定し工事発注を行うことが重要となる。モデル工事の工期について、特に余裕期間等は計上せず、従来の方法で算出された工期により発注し、結果を確認することとした。

② 特記仕様書への明示

特記仕様書に当該工事が完全週休2日制導入へ向けたモデル工事であることを明示し、原則、工期内の全ての土日を休むこととして工事を実施した。また、工事期間中は、受発注者間において工事工程の共有を図るものとした。

なお、以下の作業については、土日の作業を禁止しないこととした。

- ・金曜日に打設したコンクリートの養生作業、レイトンス除去作業など、品質確保上やむを得ない最低限の作業。
- ・立入禁止柵の設置、風飛散対策等第三者災害を防止するための、緊急を要する作業。
- ・道路、鉄道施設等工事現場に近接する構造物

の計測管理作業。

- ・道路使用許可条件，地元協議等により土日しか作業許可が下りない作業。
- ・工場，民家，公共施設等の出入口付近の作業で，土日しか作業許可が下りない作業。

③ 取組結果の取扱い

今回は，完全週休2日制導入に向けた課題や効果を確認することが目的であるため，完全に土日を休んで工事を完了した場合でも，工事の評定点数に加点するなどの反映はさせないこととした。

また，土日にやむを得ず作業を行った場合でも，特にペナルティは科さないこととした。

(2) モデル工事の選定

対象となる工事については，発注を行う出先事務所と調整し，下半期に発注する工事で，年度内に完了する見込みのものから選定した。

選定した工事は表1に示した7件の工事で，その内容は，道路の舗装工事，公園の園路整備工事，河川の維持浚渫工事などである。また，各工事の工期は3カ月程度で，比較的工期が短い工事を選定した。

(3) 工事契約時

入札・契約の手続きは，通常の工事と同じ手続

きを行った。契約後，受注者に今回受注した工事が完全週休2日制導入に向けたモデル工事であることを再確認し，土日休暇を見込んでいることが明確な工程表の作成を依頼した。

(4) 施工計画（工程表）提出時

受注者より提出された施工計画書に添付されている工程表が，土日休暇を見込んで計画されているか確認し，もし，土日休暇を見込んでいない工程表や，土日休暇を見込んでいるが明確にしていない工程表が提出された場合は，工程表の修正を依頼することとした。

(5) 工事中の工程管理

現場着手後，受発注者間において工事工程を共有化し，完全週休2日制が実施されるよう，工事に必要な関係機関との調整や施工条件の確認等を確実に言い，受注者からの協議には，ワンデーレスポンスで対応するなど，工程管理を的確に行った。

やむを得ず土日に作業を要する場合には，工事打合せ簿により，事前に理由の説明を求めた。また，月末に提出される工事履行報告書に，工事の進捗状況と共に，土日の休暇状況を併せた報告を求めた。

表1 モデル工事一覧表

| No. | 工事名 | 工種 | 工事概要 | 契約額 (百万円) | 契約日 | 完成日 | 土日 日数 |
|-----|----------------------------|------|-----------------------------------|--------------|-----------|----------|----------|
| 1 | 総合流域防災及び 県単河川改良合併工事 | 土木一式 | 舗装工687m ² 排水構造物工59m | 7 | H27.12.16 | H28.3.25 | 28 |
| 2 | 公共公園整備（総合）工事 | 造園 | 舗装工1020m ² 植栽工1式 | 26 | H27.12.9 | H28.3.25 | 30 |
| 3 | 県単河川維持工事 | 土木一式 | 河道掘削工230m ³ | 4 | H28.1.27 | H28.3.18 | 14 |
| 4 | 県単舗装道路修繕工事 | 舗装 | 舗装工2190m ² | 20 | H27.12.14 | H28.3.8 | 24 |
| 5 | 県単排水整備工事及び 県単舗装道路修繕合併工事 | 土木一式 | 排水構造物工72m 舗装工78m ² | 6 | H27.11.30 | H28.3.23 | 32 |
| 6 | 県単舗装道路修繕工事 | 舗装 | 舗装工1950m ² | 10 | H27.12.25 | H28.3.25 | 26 |
| 7 | 社会資本整備総合交付金工事 | 舗装 | 舗装工2126m ² | 16 | H27.12.25 | H28.3.25 | 26 |

3. 実施結果

今回のモデル工事では、7件のうち1件で、道路占有者との調整のため土曜日1日だけ作業を行った以外、残りの6件の工事では、土日を休工とすることができた。

これは、工事に必要な関係機関との調整等が的確に実施されたことや、受注者が工程管理を工夫して工事を実施したこと、比較的天候に恵まれ、ある程度予定通りに平日に作業を進めることができたことなどにより実現ができたと考えられる。

特に受注者は、コンクリートの打設時期を調整し、極力養生期間を土日に重なるように工程を組んだり、作業を5日間一つの単位と考えて工程を組むなど、工程管理を工夫し、土日の休暇の確保に努めて施工を行った。

工事完成後は、モデル工事に関するアンケート調査を受注者の工事担当者や経営者及び工事発注者の監督職員にそれぞれ実施した。

受注者のアンケートでは、完全週休2日制の導入について、若い作業員の募集を行う上で必要であるなどの肯定的な意見がある反面、天候に左右される業種なので問題点も多いなどの、導入に慎重な意見もあった。

また、発注者へのアンケートでは、完全週休2日制の導入について、概ね支障が無いという結果であった。

4. おわりに

若手入職者の増加につなげる取組は、国や他の自治体も含めてまだ始まったばかりであり、課題の抽出やその解決策を導き出すには、もう少し時間が必要だと思われる。しかし、若手入職者の増加は、建設業界の大きな課題であり、そのための環境整備は、早急に実行していかなければならぬ

い。千葉県では、引き続き完全週休2日制導入へ向けたモデル工事を実施し、建設業界や発注者などから、様々な意見を聞きながら、取組を進めていきたい。



写真一1 公共公園整備（総合）工事



写真一2 県単河川維持工事



写真一3 県単排水整備工事及び県単舗装道路修繕合併工事